

新刊のご案内 10月下旬刊行

# それでも僕たちは「濃厚接触」を続ける！

—世界の感触を取り戻すために—

「濃厚接触」による「さわる展示」・「ユニバーサル・ミュージアム」の伝道師として全国・海外を訪ね歩いてきた全盲の触文化研究者が、コロナ時代の「濃厚接触」の意義を問い直す。5月～7月に公開されて反響を呼んだweb連載を大幅に加筆。

広瀬浩二郎（国立民族学博物館准教授）著

※著者は、NHK ETV特集「心が躍る生物教室」（7月放送）に出演するなど、テレビ・新聞等メディアでの露出多数！

●カラー70頁・モノクロ90頁

カラーページには、国立民族学博物館所蔵の世界の資料60点を、紙上展示「世界の感触」として掲載。著者の触察コメントを付す

●点字印刷の技法による「触図」を利用した、触って楽しめるジャケット



本文より

—単純にとらえるなら、一連のコロナ騒ぎは、さわる文化の危機ということができる。しかし、そもそも接触とは何だろうか—

—近代化の「可視化＝進歩」の過程で、人類は濃厚接触のマナーを忘却してしまった—

—展示物の背後には、それを創り、使い、伝えてきた人びとの文化、目に見えない物語がある。なぜさわるのか、どうさわるのか。

新型コロナウイルスの流行は、現代社会が濃厚接触のマナーを取り戻す契機となるに違いない—

B6判・162頁  
本体1,500円

ご注文FAX 075-708-6839 小<sup>ちい</sup>さ<sup>ご</sup>子社行

銚谷書店扱い 銚谷書店を通じ、日販・トーハン・楽天BNなどの帳合書店にお送りします

[書店名・番線印]	冊数	<b>それでも僕たちは 「濃厚接触」を続ける！</b> —世界の感触を取り戻すために— ISBN978-4-909782-06-9
	冊	
	ご担当者	
	ご注文日	定価：本体1,500円（税別）
		条件：注文（返品条件付 担当 原宏一）

発行：小<sup>ちい</sup>さ<sup>ご</sup>子社（2018年6月設立）京都市左京区田中北春菜町26-21 TEL075-708-6834 info@chiisago.jp